

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371001047
事業所名	グループホーム 荒子の郷

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2)	○
	地域との相互の行き来があり、ホームは地域に根を下ろしている。利用者が地域の運動会や祭りの見物に出かけ、祭りの子供みこしや獅子舞いがホームを訪れる。獅子舞いはホームの中まで入ってきて利用者を楽しませている。ホームイベントの夏祭りやクリスマス会には、地域の子供会を中心に大勢の訪問客がある。	
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3)	○
	毎奇数月の最終水曜日を運営推進会議の開催日とし、家族代表や行政代表(地域包括支援センター職員)、地域代表が参加している。特筆すべきは地域代表で、町内会役員、子供会役員、民生委員・児童委員に加え、お世話になっている地域の薬局の店主も会議メンバーに名を連ね、多様な参加者による意見交換が行われている。	
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4)	○
	地域包括支援センター職員の運営推進会議への参加により、ホーム運営の状況は行政に伝わっている。管理者が区主催の「認知症連絡会」に参加し、ホーム運営に関する情報を取得するとともに、行政との良好な関係構築を図っている。	
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6)	○
	毎月の請求書送付時にホーム便りを同封して、家族にホームの状況と利用者の近況を知らせている。家族への電話連絡は、“家族が驚く”との理由から緊急時以外には使用せず、LineやMailを使うこととし、家族からも好評を得ている。	
重点項目⑤	その他軽減措置要件	○
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎		